

行政評価票

整理番号【55】

⑤補助金・交付金

予算事業名	景観づくり事業	010618	作成部課	建設部 建設企画課
補助金名	景観づくり事業補助金		作成者(内線)	計画係長 戸津川美二(内線575)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	Ⅲ	自然環境を活かした潤いのあるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	Ⅲ-1	地域特性を活かした景観形成の推進	予算費目(款)	08	土木費
小分類(中施策)	Ⅲ-1-1	地域の特性を大切に景観づくりの推進	予算費目(項)	05	都市計画費
個別計画			頁	01	都市計画総務費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	浜田青年会議所	意図	美しい景観は、それを見る人やその地域住民に対し、安らぎや潤いを与え、恒久的な歴史的・自然的価値を保全するだけでなく、都市やまちの個性を演出し、今後のまちづくりの将来の姿を確認させるなど、非常に多くの役割を持つ。また、景観形成の取り組みも、自治会活動等の一環として行うものであり、より良いコミュニティを形成する上でも大きな効果がある。	
内容	万灯山公園に冬季の間、イルミネーションを設置する。市民に「希望の灯」を提供するため、この公園内のヒマラヤ杉に、イルミネーションを設置する。点灯式は、市民参加型の事業として、より一層の市民交流の促進、市街地の活性化を図るため、実施する。事業については、(社団法人)浜田青年会議所が行う。またイルミネーションに合わせてイベントを企画する。例年11月上旬からイルミネーションを設置する。11月、下旬に点灯式を市民参加のもと実施する。点灯期間は、翌年1月中旬までとする。				
開始年度	平成	9年度	根拠法令・要綱等	景観づくり事業補助金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	540	540	540	点灯式の開催	回	1	1	1	
財源内訳									
- 国県支出金									
- 地方債									
- 特定財源									
- 一般財源	540	540	540						
職員数(人)	0.02	0.02	0.02						
人件費(千円)	123	119	119						
総事業費(千円)	663	659	659						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	目標値	実績値		達成度	達成度	達成度	
点灯式参加者数	目標値	200	人	200	200	250	
	実績値	200		210			
	達成度	100%		105%	0%		
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	平成9年度から市が直接事業を行っていたが、平成18年度から浜田青年会議所に企画運営を一括行ってもらっている。 今年度は浜田駅舎も新しくなり、また駅北地区に浜田医療センターが移転し、新たな駅周辺でのタイアップした一体感のある景観づくり事業を行いたい。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	浜田青年会議所を中心に多くの市民参加のもと点灯式を行っている。冬季の間市民にシンボルとして親しまれている。
	有効性	3	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 冬季における市民のシンボルとして有意義であるが、点灯式の経費を見直す必要がある。 医療センター等と連携した事業展開を望む。

行政評価票

整理番号【56】

⑤補助金・交付金

予算事業名	公共下水道事業特会 水洗化促進事業	100009	作成部課	建設部 下水道課
補助金名	排水設備工事利子補給金		作成者(内線)	業務係長 吉川直哉(77-22-448)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	V	快適で安心して暮らせる、にぎわいのあるまち	予算費目(会計)	10	公共下水道特別会計
中分類(施策)	V-6	上下水道等生活基盤の整備	予算費目(款)	01	下水道費
小分類(中施策)	V-6-2	快適な生活をもたらす下水道の整備促進	予算費目(項)	01	総務管理費
個別計画			予算費目(目)	01	一般管理費
55億円財源計画	6	6	4	水洗化促進補助金の縮減、廃止	
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	市の条例・規則・告示に基づく事業	
目的	対象	下水道処理区域内において、既存の便所その他排水設備の改造工事を行う者	意図	水洗便所の普及および排水設備整備の促進を図り、環境衛生の向上に資することを目的とする。	
内容	公共下水道供用開始の日から3年以内、または個別浄化槽の設置を完了した日から1年以内に行う改造工事で、指定する取扱金融機関から改造資金に係る融資あっせん額、対象者1人につき150万円を限度とし、60回(5年)以内の元利均等月賦償還により行い、償還(繰上償還可)後、その利子相当額を交付する。				
開始年度	平成 16 年度	根拠法令・要綱等	浜田市水洗便所改造資金融資あっせん及び利子補給に関する規則		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考	
事業費(千円)	165	133	176	補助金交付件数	件	4	5	12		
財源内訳	国県支出金			補助金交付額	円	164,950	132,559	175,565	補助金交付は償還後	
	地方債									
	特定財源	165	133	176	接続申請件数	件	97	62	50	当該年度分
	一般財源									
職員数(人)	0.005	0.005	0.005	融資あっせん件数	件	16	7	5	当該年度分	
人件費(千円)	31	30	30							
総事業費(千円)	196	163	206							

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	当該年度の接続申請件数の内、融資あっせん補助金の影響による接続率の向上の指標を申請件数の1割を目標値とする。(融資あっせん件数)	目標値	10	7	5		
		実績値	16	7	-		
		達成度	160%	100%			
		目標値					
	実績値						
		達成度					

【現状と課題】
事業開始からの状況変化等
平成17年度の供用開始以降、下水道接続申請者数の内、15%程度の利子補給金補助の申請がある。全体事業費は少額であるが、事業目的の下水道事業接続促進に十分寄与している。

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	下水道接続率向上のための必要な事業と考え、必要性、有効性を4としたが、融資あっせんを受けるための審査機関が指定金融機関で審査も厳格なため、資産をある程度有する申請者でない限り融資あっせんは受けられない。また、下水道事業実施区域の住民のみの対象となるため公平性を2とした。
	有効性	4	
	公平性	2	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	・接続率アップを図るために必要

行政評価票

整理番号【57】

⑤補助金・交付金

予算事業名	公共下水道事業特会 水洗化促進事業	100009	作成部課	建設部 下水道課
補助金名	排水設備工事補助金		作成者(内線)	業務係長 吉川直哉(77-22-448)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	V	快適で安心して暮らせる、にぎわいのあるまち	予算費目(会計)	10	公共下水道特別会計
中分類(施策)	V-6	上下水道等生活基盤の整備	予算費目(款)	01	下水道費
小分類(中施策)	V-6-2	快適な生活をもたらす下水道の整備促進	予算費目(項)	01	総務管理費
個別計画			予算費目(目)	01	一般管理費
55億円財源計画	6	6	4	水洗化促進補助金の縮減、廃止	
実施主体	その他		事業区分	市の条例・規則・告示に基づく事業	
目的	対象	下水道処理区域内において、既設の便所その他排水設備工事を行う生活扶助世帯等の者	意図	水洗便所の普及及び排水設備の整備の促進を図り、環境衛生の向上に資することを目的とする。	
内容	生活保護法第11条第1項第1号の生活扶助を受けている世帯又は世帯の総収入が生活保護法による生活扶助基準額に満たない世帯の構成員が対象となる。生活扶助世帯が1/3補助、その他の世帯は1/6補助としている。				
開始年度	平成	16	年度	根拠法令・要綱等	浜田市水洗便所改造工事費補助金交付要綱

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考	
事業費(千円)	390	0	584	補助金交付件数	件	2	0	2	当該年度申請交付	
財源内訳	国県支出金			補助金交付額	円	390,000	0	584,000		
	地方債									
	特定財源	390	0							584
	一般財源									
職員数(人)	0.005	0.00	0.005							
人件費(千円)	31	0	30							
総事業費(千円)	421	0	614							

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標	単位	H19	H20	H21	長期目標等
	指標の設定は困難					
			目標値			
			実績値			
			達成度			
			目標値			
			実績値			
			達成度			
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	平成16年度から実施している事業であるが、補助対象者に制約があり、過去の申請は、H19年度の2件のみである。補助対象者にとって条件的に相反する補助金であり、申請自体が困難な事業である。条例がある以上、弱者救済のため予算計上している状況である。					

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	必要性は認められるが、有効性、公平性に至っては、事業評価自体、困難である。
	有効性	-	
	公平性	-	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	D	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮世帯への下水道接続に対する補助であるが、接続自体が困難であり廃止すべき。 減免措置等の方法を検討すべき。

行政評価票

整理番号【58】

⑤補助金・交付金

予算事業名	農業集落排水事業特会 水洗化促進事業	110003	作成部課	建設部 下水道課
補助金名	排水設備工事補助金		作成者(内線)	業務係長 吉川直哉(77-22-448)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	V	快適で安心して暮らせる、にぎわいのあるまち	予算費目(会計)	11	農業集落排水事業
中分類(施策)	V-6	上下水道等生活基盤の整備	予算費目(款)	01	農業集落排水費
小分類(中施策)	V-6-2	快適な生活をもたらす下水道の整備促進	予算費目(項)	01	総務管理費
個別計画			予算費目(目)	01	一般管理費
55億円財源計画	6	6	4	水洗化促進補助金の縮減、廃止	
実施主体	その他		事業区分	市の条例・規則・告示に基づく事業	
目的	対象	農業集落排水処理区域内において、既設の便所その他排水設備工事を行う生活扶助世帯等の者	意図	水洗便所の普及及び排水設備の整備の促進を図り、環境衛生の向上に資することを目的とする。	
内容	生活保護法第11条第1項第1号の生活扶助を受けている世帯又は世帯の総収入が生活保護法による生活扶助基準額に満たない世帯の構成員が対象となる。生活扶助世帯が1/3補助、その他の世帯は1/6補助としている。				
開始年度	平成	16	年度	根拠法令・要綱等	浜田市水洗便所改造工事費補助金交付要綱

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考	
事業費(千円)	0	0	250	補助金交付件数	件	0	0	1	当該年度申請交付	
財源内訳	国県支出金			補助金交付額	円	0	0	250,000		
	地方債									
	特定財源	0	0							250
	一般財源									
職員数(人)	0.01	0.01	0.01							
人件費(千円)	31	30	30							
総事業費(千円)	31	30	280							

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	指標の設定は困難						
	目標値						
	実績値						
	達成度						
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	平成16年度から実施している事業であるが、補助対象者に制約があり、過去の申請は未だ無い状況である。補助対象者にとって条件的に相反する補助金であり、申請自体が困難な事業である。条例がある以上、弱者救済のため予算計上している状況である。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	必要性は認められるが、有効性、公平性に至っては、事業評価自体、困難である。
	有効性	-	
	公平性	-	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	D	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮世帯への下水道接続に対する補助であるが、接続自体が困難であり廃止すべき。 減免措置等の方法を検討すべき。

行政評価票

整理番号【59】

⑤補助金・交付金

予算事業名	農業集落排水事業特会 水洗化促進事業	110003	作成部課	建設部 下水道課
補助金名	排水設備工事利子補給金		作成者(内線)	業務係長 吉川直哉(77-22-448)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	V	快適で安心して暮らせる、にぎわいのあるまち	予算費目(会計)	11	農業集落排水事業特別
中分類(施策)	V-6	上下水道等生活基盤の整備	予算費目(款)	01	農業集落排水費
小分類(中施策)	V-6-2	快適な生活をもたらす下水道の整備促進	予算費目(項)	01	総務管理費
個別計画			頁	01	一般管理費
55億円財源計画	6	6	4	水洗化促進補助金の縮減、廃止	
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	市の条例・規則・告示に基づく事業	
目的	対象	農業集落排水事業処理区域内において、既存の便所その他排水設備の改造工事を行う者	意図	水洗便所の普及および排水設備整備の促進を図り、環境衛生の向上に資することを目的とする。	
内容	供用開始の日から3年以内、または個別浄化槽の設置を完了した日から1年以内に行う改造工事で、指定する取扱金融機関から改造資金に係る融資あっせん額、対象者1人につき150万円を限度とし、60回(5年)以内の元利均等月賦償還により行い、償還(繰上償還可)後、その利子相当額を交付する。				
開始年度	平成 16 年度	根拠法令・要綱等	浜田市水洗便所改造資金融資あっせん及び利子補給に関する規則		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考	
事業費(千円)	0	112	59	補助金交付件数	件	0	3	1		
財源内訳	国県支出金			補助金交付額	円	0	111,079	58,050	補助金交付は償還後	
	地方債									
	特定財源	0	112							59
	一般財源									
職員数(人)	0.00	0.005	0.005	接続申請件数	件	34	14	40	当該年度分	
人件費(千円)	0	30	30	融資あっせん件数	件	9	0	10	当該年度分	
総事業費(千円)	0	142	89							

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	当該年度の接続申請件数の内、融資あっせん補助金の影響による接続率の向上の指標を申請件数の1割を目標値とする。(融資あっせん件数)	目標値	件	4	2	4	
		実績値		9	0	-	
		達成度		225%	0%		
		目標値					
	実績値						
	達成度						

【現状と課題】 事業開始からの状況変化等 利子補給補助金は集落排水施設供用開始から3年間以内に排水設備工事を行うものが対象となる。雲城地区農業集落排水事業はH22完了予定のためH26年度以降は、対象者が市町村設置型個別浄化槽整備事業に限られる。接続率向上のためには、3年間の期限について、緩和または撤廃の検討が必要である。

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	下水道接続率向上のための必要な事業と考え、必要性、有効性を4としたが、融資あっせんを受けるための審査機関が指定金融機関で審査も厳格なため、資産をある程度有する申請者でないと融資あっせんは受けられない。また、集落排水事業実施区域の住民のみの対象となるため公平性を2とした。
	有効性	4	
	公平性	2	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	・接続率アップを図るために必要